

学習指導案

岩手県立釜石商工高等学校 2 学年 D 組 (男 28 女 0 計 28 人)、
平成 29 年 10 月 13 日(金) 4 校時 場所 教室 指導者名 松本佳久

1. 題材
または
単元 機械工作

2. 目標
鋳造について理解を深める。
鋳造に関する問題において倫理的な判断ができる。

3. 基盤
①教材観
鋳造に関する学習であるが、一円玉を例に提示し、貨幣の損失や著作権の理解につなげていく。
②生徒観
学力差が大きく、中には難しいことには取り組みたくないとする生徒も数名いる。例を出し、学習事項が身近なものであることを説明し、倫理観を養わせる。
③指導観
意見を出し合い話し合うことや、表現することが大切であるが、まずは問題を正しく理解できるよう、問題の説明を丁寧行う。

4. 指導と 評価の 計画	小題材 ・内容	時間	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
	鋳鉄の 組織と性質	2	鋳鉄について関心を持って学習に取り組もうとしている。 【行動観察】	教科書にある図表を正しく理解することができる。 【発言】		鋳鉄を理解している。 【ノートの記述】
	鋳鉄の種類 ① ねずみ鋳鉄、球状黒鉛 鋳鉄、可鍛鋳鉄 ② 鋳造について	2 本時	様々な種類の鋳鉄や著作権問題について関心を持って学習に取り組もうとしている。 【行動観察】	自分の意見・考えを持ち、表現しようとしている。 【学習シート】		過去に出てきた金属の性質や著作権の用語を正しく表現できる。 【発言】

5. 本時			
(1) 目 標			
<p>鑄造に関する知識・理解を深め、倫理的な判断力を身につけさせる。</p>			
(2) 展開			
学習内容・学習活動	時間	指導上の留意点と支援 ・評価【観点】と方法	資料、教材・教具
<p>前時の復習 プリントにある選択肢 の意味を理解する。</p>	<p>導入 5分</p>	<p>前時に学んだ鑄鉄の内容を復習する。 プリントを配布し、線引き問題の選択肢を 丁寧に説明する。 復習事項を答えられるかどうかで評価す る。 【知識・理解】</p>	<p>学習プリント</p>
<p>学習プリントに書いてある線引き問題を取り組ませる。</p> <p>グループで考え話し合う。</p> <p>グループで考えをまとめ、発表用の紙に書き、みんなの前で発表する。</p>	<p>展開 35分</p>	<p>学習プリントの問題に取り組み自分なりの考えをまとめて表現しているかを確認する。 【思考・判断・表現】</p> <p>積極的に話し合いに参加しているかを机間巡視する。 【関心・意欲・態度】</p> <p>発表したか、周りの生徒が聞く姿勢になっているかを確認する。 【思考・判断・表現】</p>	<p>学習プリント 学習プリント</p>
<p>感想を書かせる。</p>	<p>終末 10分</p>	<p>感想を記入しているか。</p>	<p>プリントに感想を記述させる。</p>

<p>(3) 評価</p> <p>積極的に発言されることが考えられる。また、グループワークの際にも発言しているかで評価を行う。</p>	
<p>本時の評価規準</p>	<p>【関心・意欲・態度】</p> <p>積極的に発言し、話し合いに参加しているかで評価する。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>自分の意見を持ち、表現できているかで、評価する。</p> <p>学習プリントからも評価する。</p> <p>【知識・理解】</p> <p>学習プリントに復習事項を正しく記述しているかで判断する。</p>
<p>十分満足できると判断される生徒の姿</p>	<p>積極的に発言し、グループワークでも積極的に活動している。</p>
<p>支援が必要とされる生徒への支援方法</p>	<p>グループワークの際に、他人の意見を聞くばかりで、自分の意見を発言しない生徒が出ると考える。その際は間違っても良いから発言してみようと机間巡視の際に声を掛ける。</p>
<p>その他：</p>	